



稲川教育長に目録を手渡す中野代表(右)

インターセプト・インターセプトNEX(中野正昭代表)から、体育施設を利用しての方のスポーツ活動の利用に役立ててほしいと、ウォーターサーバー2基の寄贈がありました。



大塚市長・稲川教育長・各校長に目録と寄付金を手渡す真壁ライオンズクラブの皆さん

真壁ライオンズクラブ(潮田新正会長)から、真壁地区の小・中・義務教育学校(前期・後期課程)へ各5万円の寄付と、同地区1年生179人分のノートおよび真壁図書館へ図書のおよび寄贈がありました。



大塚市長に寄付金を手渡す大久保代表(右)

O・ストラッスマット・バンド(大久保康和代表)から、チャリティコンサートでの収益金80,630円の寄付がありました。



大塚市長に寄付金を手渡す石原代表(右)

郷土を愛する桜川会(石原久代表)から、若い世代の市民のために役立ててほしいと、チャリティゴルフ・コンサートの収益金69,000円の寄付がありました。



大塚市長に寄付金を手渡す岩瀬ライオンズクラブの皆さん

岩瀬ライオンズクラブ(斎藤康会長)から、若い世代の市民のために役立ててほしいと、64,200円の寄付がありました。



株式会社A-コンツェルン(吉原圭司執行役員)・株式会社I-KE(風野哲専務取締役)から、市民のために役立ててほしいと、緑茶(2L)3,240本の寄贈がありました。

寄付

寄贈



旬のこだまスイカを手にもPR

5月30日、JA北つくばこだま西瓜部会副部会長の鯉淵元章さんら5名が、市役所大和庁舎を訪れ、大塚市長を表敬訪問しました。同部会の皆さんは、5月から6月にかけて出荷のピークを迎えたこだまスイカのPRを行うとともに、東京中央卸売市場での取り扱い状況や販売実績のほか、行っているPR活動内容などを報告し、市

長と意見交換を行いました。同部会は、これまでの取り組みが評価され、平成30年度第48回日本農業賞特別賞を受賞しています。鯉淵副部長は「今後も生産者の所得向上や、さらなるこだまスイカの販売促進につながる取り組みをしていきたい」と話してくれました。



採れたてのこだまスイカ

旬の

こだまスイカのPRで

大塚市長を表敬訪問

■問合先／農林課(☎58-51111-75 / 3111代表)